

OpenTalks!

Dec 2020



革修理はじめました

オーティーエスが誇る品質管理チーム(QC チーム)がこの度、革製品の修理取扱いを開始いたしました。

これまでアパレル製品の修理、(別の専門部門ではありますが)ジュエリーの修理と、修理業務に力を入れてきたオーティーエスですが、さらにお客様のビジネスを強力にサポートするべく、高い専門知識 / 技術が求められる革製品の修理に活動を広げました。

今回は実際に革修理を行うQCチームの川田さんにお話を伺いました。



サービス開始のきっかけは？

お客様と商品の修理についてお話しさせていただく中で、革雑貨の修理依頼のお話を多くいただくようになりました。お問い合わせについては年々増えているというイメージで、この分野でお客様がお困りなんだという思いは以前から強く持っていました。

サービスの開始前も何度か修理をさせていただきましたが、やはり革修理は専門の知識 / 技術が必要な分野で、なかなかA品の品質に持っていくことができず、お客様のご要望に100%お答えすることができませんでした。



専門知識 / 技術の習得へ...

やるのなら本格的にという思いから、会社に掛け合いから革自体の勉強と、鞆の作り方・構造を勉強をさせていただきました。

現状では部分的な補色やハゲ部分の補修、コバ塗りのみ出た部分や掛けている個所の補修といった作業を主に取り扱っております。将来的にはX線検査機を使用しでの異物除去や、角部分のパイピング・擦り切れ等の修理も出来るよう日々技術の習得に努めています。

出荷の商品をA品にするだけでなく、エンドユーザー様からの修理依頼にも対応出来るようになっていきたいです。



修理にかける思い



今回の修理サービス拡大について田中社長にインタビューいたしました

田中 ファッション専門の物流倉庫として長年アパレル企業様の商品の入出荷のお手伝いさせていただいておりますが、年々QCに関するご要望が多くなっていると感じます。

多くの商品は海外からの輸入となりますが、もともと日本の品質基準に満たないものや輸送中のダメージ等で、各社様B品の問題についてはお悩みかと存じます。

私たちが商品をお預かりする立場として、売る事ができずたまっていくB品の問題について、何とかお客様の役に立てないものかと思いついたのがサービスの始まりです。

なんとかしてB品をA品にしたい!お客様の価値ある商品やブランドが、より長くエンドユーザー様にお使いいただけるようなサポートが出来るよ

うになればというのが、修理 / メンテナンスのサービスを広げている理由になります。

これまでは洋服を中心に修理業務に取り組んできました。現在では【着るモノの修理】の割合については半分くらいとなってきており、伸びているのがやはりバッグ・革小物・靴といった革製品になります。

より高度な知識 / 技術が求められる分野ですが、少しでもお客様のお役に立てるサービスに出来るよう教育や設備には積極的に投資していくつもりです。

新砂センタージュエリー事業部 presents

12月の誕生石の色 → ターコイズ / ロイヤルブルー 石言葉 : 成功



ターコイズ : Turquoise【トルコ石】

人類との歴史が最も古い石の一つで、古代ペルシャでは魔よけの力があると信じられており、世界各地で神聖な石として尊ばれてきました。創造性を磨き、霊的な気づきをサポートする石。コミュニケーションを円滑にするパワーもあります。

ラピスラズリ : Lapis lazuli【瑠璃 / るり】

夜空にまたたく星の輝きをイメージさせる石。直観力を高め、霊的な悟りへと導く聖なる石として、ツタンカーメンの棺や正倉院の宝物に使用されています。古代エジプトでは冥界の神「オシリスの石」と呼ばれていました。